

編集 後記

日本公衆衛生雑誌第55巻第2号をお届けします。本号では、原著2編、資料3編を掲載しており、原著では、C型肝炎ウイルス検診とそのフォローアップの重要性を取り上げた論文が掲載されています。

肝炎対策については、保健所において肝炎ウイルス検査を推進しており、本年1月から来年3月までは、保健所が委託をした医療機関で受診する場合も費用が無料になるよう措置がなされています。また、本年1月に成立・施行された「特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅸ因子製剤によるC型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法」に基づき、給付金の支給手続が独立行政法人医薬品医療機器総合機構で開始されています。

このように、肝炎対策がこの数か月の間に急速に充実しつつある中、HCV陽性者に対する保健師の受診確認、受診勧奨といった支援が有効であるという論文が発表されたことは、非常に時宜を得たものであります。C型肝炎ウイルス検診に携わる多くの保健医療従事者が、この論文を参考にして日々の支援活動を進めていただくとともに、同様のフィールドリサーチが各地で行われることを願ってやみません。

また、資料では、全国の保健所のウェブサイトの公開状況について取り上げられています。保健所においては、感染症の分野ではC型肝炎に加え、新型インフルエンザ、麻疹などの対策が、食品安全の分野では中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例などへの対策が求められています。そのような中、保健所が地域住民の健康危機に対する不安を解消するため、積極的に情

次号予告 (第55巻・第3号)

原著

死因の相違が遺族の健康・抑うつ・悲嘆反応に及ぼす影響……………宮林幸江, 他

公衆衛生活動報告

食育ネットワーク形成における参加グループの課題共有のプロセス

「S食育ネット」の事例……………田中久子, 他
HIV/AIDS診療における地域連携の体制づくりと課題……………白井千香, 他

資料

愛媛県東部地域のA市に発生した腸管出血性大腸菌O26感染事例……………冨田直明
「健康日本21」地方計画における喫煙対策の現状
全国市町村現状調査より……………新村洋未, 他

連載

臨床経済学の基礎(9)……………大久保一郎
親子保健・学校保健(1)……………加藤則子
運動・身体活動と公衆衛生(1)……………内藤義彦

報発信に取り組むことは喫緊の課題です。

この資料は、保健所が科学的根拠に基づいて発信する情報の内容を充実させることはもちろん、ユーザビリティ、アクセシビリティの高いウェブサイトを開発することを求める明確なメッセージを発しており、保健所の医師をはじめとする職員に参考にしていただきたいと思います。(前田光哉)

日本健康科学学会第24回学術大会「一般演題募集」のご案内

日本健康科学学会第24回学術大会(学術大会長 女子栄養大学:武藤志真子教授)は、平成20年9月27日(土)~28日(日)、女子栄養大学坂戸キャンパス(埼玉県坂戸市)で開かれます。

メインテーマ:『栄養学と健康科学のコラボレーション』

主な内容(予定):基調講演,特別講演,創立記念日特別講演,教育講演,シンポジウム,市民公開講演会,ランチョンセミナー,一般演題発表(口演),併設展示など

参加費:(事前登録:8月29日締切)

会員6,000円,協賛団体会員・一般7,000円,学生1,000円(8月30日以降は,各1,000円増)

一般演題募集要領:詳細は,学会ホームページ <http://www.jshs.gr.jp> 参照

申込方法:詳細は,第24回学術大会ホームページ <http://www.jshs.info/> 参照

演題申込締切日:6月20日(金)(必着)・一般演題申込費は6月20日(支払期日)までに振り込む。

申込先・問合せ:日本健康科学学会第24回学術大会事務局

〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田3-9-21

女子栄養大学 健康情報科学研究室内(事務局長:藤倉純子)

TEL:049-282-3785(平日9:30~16:30,土日祝祭日はお休み)

E-mail:jshs2008@eiyo.ac.jp